

木与防災の整備効果

◆木与地区は、災害発生による通行止めが多発し、通行止め時には大幅な迂回を強いられている。また、事前通行規制区間の存在により異常気象時に片側交互通行・全面通行止めが多数発生している。このことから、災害時・異常気象時でも信頼性の高い道路交通サービスを提供できる。

効果1 通行止め時に機能するネットワークの確保
 ・国道191号における災害時等の代替路が確保され、道路の信頼性が向上

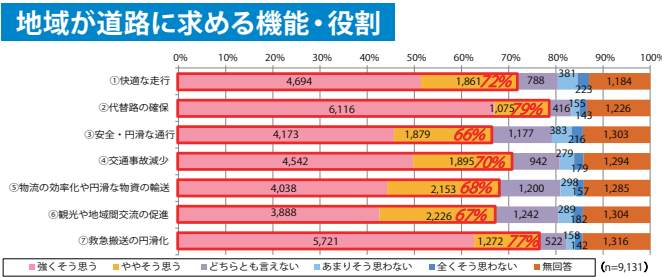
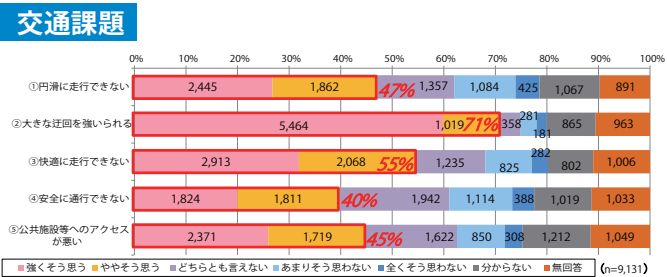
効果2 救急医療機関への速達性、確実性の確保
 ・緊急度の高い患者を搬送時の時間が短縮され、患者の生命や予後への影響を回避

効果3 安全性・走行性の向上
 ・急カーブ、急勾配など道路構造に問題のある区間が改善され、走行性が向上

効果4 産業の活性化
 ・地域の豊富な農水産物の出荷経路として安全で走行性の高い道路が整備され、農水産業が活性化

効果5 観光振興の促進
 ・益田、津和野、萩の観光周遊ルートとして安全で走行性の高い道路が整備され、観光振興が活性化

地域の意見のまとめ



【アンケート自由意見】
 ・木与通行止めの時には、奈古～宇田の町内移動に通常20分が、1時間以上かかる。
 ・迂回ルートがなく救急車両、緊急時に非常に困る。
 ・急カーブの所の見とおしが悪く、夜間暗い所が一部あり、ヒヤットしたことがある。

【アンケート自由意見】
 ・安心・安全な道がほしい、災害に強い道が必要、道はつながってこそ意味がある。
 ・通行止めが多く、救急搬送などを含め早く行ける道路が必要。
 ・木与地区は、国道191号を中に両方に家が続き、カーブも急で車が見えにくく、渡りにくい。

【ヒアリング意見】
 ・国道191号の通行止め時は、片道約1.5時間のところが3時間近くかかり、別便での対応となるので、コスト増加、ドライバーの拘束時間増などの問題が生じる。(広域道路利用者(運送業))
 ・広域観光ルートを形成している「ながと路観光連絡協議会」において、観光地間を結ぶ交通利便性の向上が課題となっている。(萩市)

【ヒアリング意見】
 ・時間短縮が可能な道路整備がなされれば販路確保の可能性は広がる。(漁港)
 ・島根西部方面からの移動時間が短縮され、来客数の増加が期待できる。(観光地)

まとめ 将来の山陰道としての活用も想定した、地すべり地帯を回避する別線トンネルを防災対策として緊急的に実施

- 地域の主要産業である農水産業の振興や周遊観光、広域的な救急搬送の観点等から、山陰道の早期整備を望まれている。
- 特に、事前通行規制区間においては、災害等による国道191号の通行止めが過去10年間に9回発生し、現在も、不安定な土塊が法面に残っている状況である。
- 地域住民や道路利用者、企業・団体への意見聴取においても、特に「災害時や異常気象時に通行できる代替路の確保」や「救急病院への移動や広域的な救急搬送が出来ること」を望む意見、自由意見でも「防災」に関する意見が多く、防災の観点から対策が急務である。
- 国道191号に対する現道防災対策は、大規模な地すべりの不安定土塊除去や法面の安定化を図る対策の実現可能性は低い。よって、地すべり地帯や、落石や法面崩壊等の危険箇所を回避し、周辺環境への影響や経済性を考慮した別線トンネル案とする。

出典：H28.12.14 第3回中国地方小委員会アンケート結果より

令和8年3月 作成

一般国道191号



木与防災



一般国道191号
木与防災



注) 地図上のルートは概略の位置を示すものであり、今後の現地測量等を実施し、決定していきます。 測量法に基づく国土院院長承認(複製)R 2JHF 53 本製品を複製する場合には、国土院の長の承認を得なければならない。

木与防災の概要

一般国道191号は山口県下関市と広島県広島市を結ぶ主要な幹線道路です。

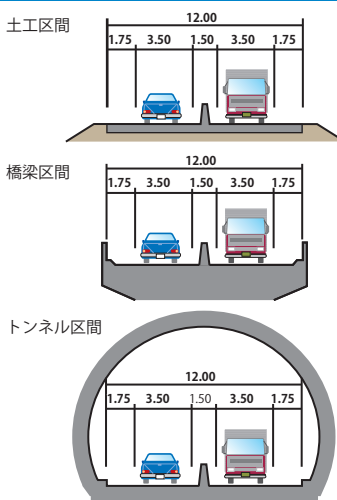
木与防災は、一般国道191号の事前通行規制区間を回避した計画ルートとなることから、地域の安全・安心を確保した路線となります。

また、山陰地方の高規格幹線道路(自動車専用道路)の一部を形成する道路として産業の活性化や観光振興の促進に寄与することが期待されます。

位置図



標準断面図 (m)



事業概要

事業名	一般国道191号木与防災
延長	5.1km
起点	やまぐち あぶ あぶ きよ 山口県阿武郡阿武町木与
終点	やまぐち あぶ あぶ うた 山口県阿武郡阿武町宇田
事業化年度	平成29年度

一般国道191号木与地区における課題

大雨などによる異常気象時や災害等による通行止めにより日常生活、経済活動に影響

木与地区では、事前通行規制区間(連続雨量200mm)が存在し、災害等による全面通行止めが過去10年間(H18~H27)で9回(累積447時間)発生。(表1)

木与地区は中国地方における事前通行規制の中で規制件数、規制時間も最大。(図1) 通行止めが発生した場合、大幅な迂回を強いられ、生活や経済活動に多大な影響を与えている。(図2)

表1 木与地区の災害等による通行止め履歴 (H18~H27)

発生年度	件数	概要	前面通行止め時間
H21	1	事前通行規制	47時間 (2.0日)
H22	1	土砂流出	153時間 (6.4日)
H23	3	事前通行規制	187時間 (7.8日)
H24	1	事前通行規制	9時間 (0.4日)
H25	2	事前通行規制	35時間 (1.5日)
H26	1	事前通行規制	16時間 (0.7日)
合計	9	—	約447時間 (約19日)

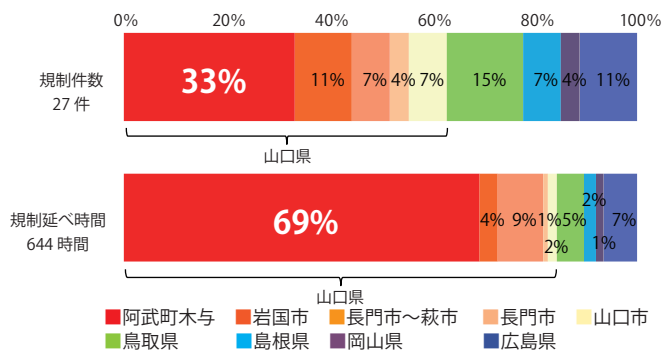
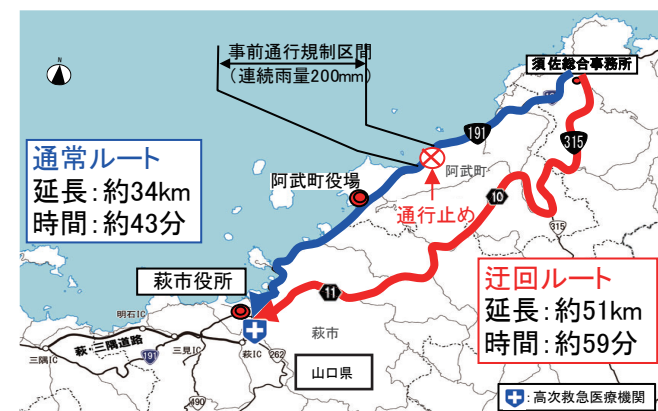


図1 中国地方内における事前通行規制の内訳 (H18~H27)



※現況は、令和3年度全国道路・街路交通情勢調査の昼間12時間旅行速度を基に算出。

図2 通行止め発生時迂回ルート



【写真①】H23被災状況



【写真②】S55被災状況

参考写真 土砂災害発生状況